

情報社会－ Information Society

制作・著作 ISOF277 (布施泉, 岡部成玄) ※

Copyright ©2015 ISOF277 All rights reserved

制作協力 株式会社 nice

(札幌市中央区宮の森 1 条 11 丁目 2 番宮の森スタジオ)

情報社会における問題の提起とその解決を考えるための教材です。定まった正解はありません。シナリオと映像を提供しています。映像は 3 分を目途に制作していますが、多少前後してします。

(1) 情報社会情報メディアと責任 映像ファイル：1-a.mp4, 1-b.mp4, 1-c.mp4

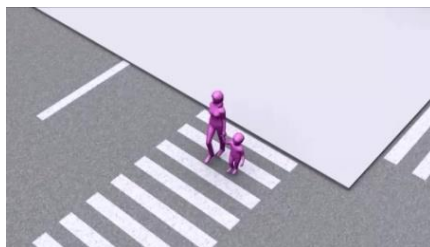
情報化が進む中で、問題提起と責任追及及び追及責任の問題、マスメディアとソーシャルメディアのあり方の問題に関わるテーマとして取り上げています。

概要：20 年前に起きた、15 歳の少年による自転車事故を振り返る番組がテレビで放送される。これをきっかけに、ソーシャルメディアで激しいバッシングが起き、実名と住所が曝される。

1-a) 当時 3 歳の一人息子を自転車事故で失う母親の様子をテレビ番組の映像として表現。ナレーションによる次のような解説で問題提起。「不特定多数の人々によって起きたバッシング。人は、なぜバッシングをするのでしょうか？批判なのでしょうか、制裁なのでしょうか？過去に行ったことへの責任は、どう考えるとよいのでしょうか？加害者だけでなく、妻や子供などの家族も、その責任を背負わなければならないのでしょうか？」

1-b) 加害者側の立場から：法の定めに従い処分に服し、社会復帰した加害者だが、バッシングの過熱により退職を余儀なくされる様子を映像で表現。「確かに、Aさんは重い罪を犯しましたが、更生し平穏な生活をしていました。それを壊すきっかけとなったのがネットに上がった批判の声。厳しい表現で、私的制裁の様相を呈しています。過去の罪に、どこまで、どう責任を負うべきなのでしょうか？」

1-c) 誤りや名誉棄損：対象の人物と間違われ、誤った情報で誹謗中傷を受ける被害者。拡散する情報。その対応と誹謗中傷による検挙された人たちの様子を映像で表現。



- 【参考】・ 2014 年度情報セキュリティの倫理に対する意識調査報告書，情報処理推進機構，
<http://www.ipa.go.jp/files/000044094.pdf>
- ・ 特定電気通信役務提供者の損害賠償責任の制限及び発信者情報の開示に関する法律
http://elaws.e-gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/lsg0500/detail?lawId=413AC0000000137
 - ・ 判例検索 http://www.courts.go.jp/app/hanrei_jp/search1
例：名誉毀損事件 http://www.courts.go.jp/app/files/hanrei_jp/704/038704_hanrei.pdf
 - ・ 突然僕は殺人犯にされた，スマイリーキクチ，竹書房，2011
 - ・ ある日私は友達をクビになった，エミリー・バゼロン，早川書房，2014

(2) 情報格差と支援 映像ファイル：2-a.mp4, 2-b.mp4, 2-c.mp4

本教材は、高齢者に対する身近な情報システムの問題として、スマートフォンの操作性とインターネット上の詐欺の問題を取り上げました。情報格差の問題は高齢者に限りません。学校教育現場では、学習者の経済力の差が情報格差とならないようにすることが求められます。

構成：スマートフォンの使い方に戸惑う高齢者と手伝う孫。架空請求詐欺のメールに戸惑う高齢者，高齢者に対する情報システム所持に対する街の声。利用支援（フィルタリング，サポート等）

2-a) 祖母の家に遊びに来た孫が祖母のスマートフォンを設定する。その場は上手く行ったように見えたが、一人の時に問題が起こる。

2-b) 高齢者の立場から：架空請求詐欺と分からず、メールで指定された電話番号に電話をしてしまう。架空

請求詐欺に対する対応の解説，高齢者に対するスマートフォンをどのように考えるかについての街の声で構成

2-c) 社会的な対応：高齢者が安心して利用可能な支援環境について検討・考察

【参考】・「架空請求詐欺」，警察庁 <https://www.npa.go.jp/safetylife/seianki31/kakuushousai.html>
・「フィッシング 110 番」，警察庁 <https://www.npa.go.jp/cyber/policy/phishing/phishing110.htm>

(3) 情報伝達と管理 映像ファイル：3-a. mp4, 3-b. mp4, 3-c. mp4, 3-d. mp4

情報の受信と発信の問題，個人情報の管理・プライバシーの保護の問題を取り上げています。

構成：3-a) 個人情報漏洩に怒り，予測表示に困惑し，忘れられる権利を求める利用者。街の声。
3-b) 竜巻注意報を受け取り，友達に伝える利用者。伝聞の拡散。街の声。
3-c) 情報の判断基準を考える。デマとその収束。

【参考】

- ・ 個人情報の保護に関する法律，
http://elaws.e-gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/lsg0500/detail?lawId=415AC0000000057
- ・ 忘れられる権利はネット社会を変えるか？ (NHK)
http://www.nhk.or.jp/gendai/kiroku/detail02_3219_all.html
「忘れられる権利」をめぐる動向，国立国会図書館
http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_9055526_po_0854.pdf?contentNo=1
- ・ OECD プライバシーガイドライン，堀部政男，新保史生，野村至，JIPDEC，2014
- ・ 国際討論プライバシーの危機，学陽書房，1973
- ・ 検証東日本大震災の流言・デマ，荻上チキ，光文社，2011

(4) スマート化と近未来 映像ファイル：4-a. mp4, 4-b. mp4

人々の活動に対する，ビッグデータを活用した情報システムの自律的支援の可能性と問題を取り上げています。

概要：情報システムによる自律的支援（自動運転，体調管理，自動応答等）ースマート化の近未来。

4-a) 自動運転可能な道路で自動運転中。情報システムの勧めにより，妻へのお土産を買う夫。その購入情報はすぐに妻に伝達される。体調管理もされ，検診予約等も行ってくれる便利なシステム。

4-b) 家族でのお出かけシーン。システムからの推薦で行先を決める。一緒に出掛けているが，個々にお勧め情報が提示され，個々に情報が取捨選択される。喧嘩も仲直りも全てシステムが仲介？



【参考】

- ・ 平成 25 年版情報通信白書ー「スマート ICT」の戦略的活用でいかに日本に元気と成長をもたらすか，総務省，<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/h25.html>
- ・ 1984 年，ジョージ・オーウェル，早川書房，2009（原作は 1949 年に出版）
- ・ メディア論，M.マクルーハン，みすず書房，1987（原作は 1964 年に出版）

その他：授業実践では，「近未来のスマート化に関する映像教材が，特に興味深かったです。コンピュータが生活を豊かにするとともに，同時に人間と機械の関わり方という倫理的問題も発生することがわかりました。」など，概ね良好な評価を得ている。

※本教材は情報倫理教育に関わる研究*の過程において制作されたものです。

* JSPS 科研費 24300277 の助成を受けました。The work was supported by JSPS KAKENHI Grant Number 24300277